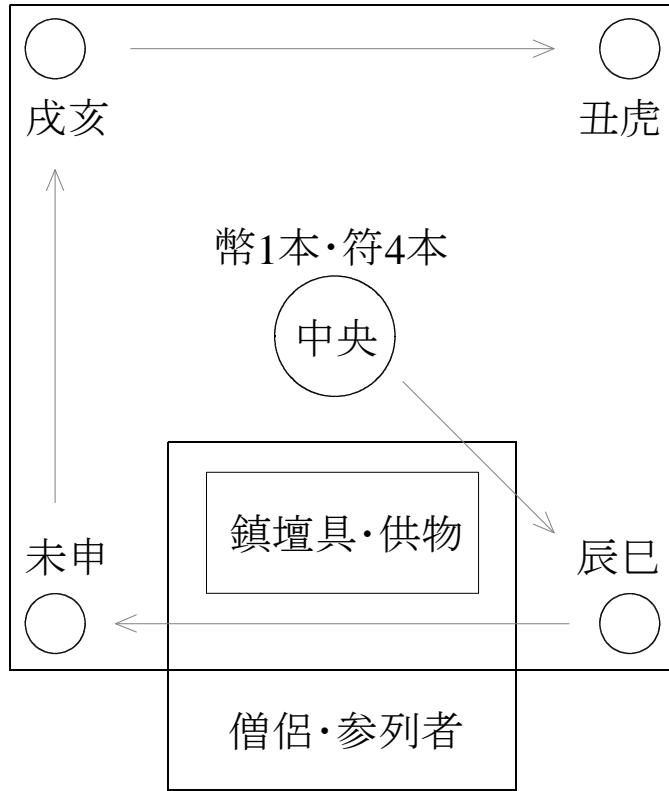


平成二十一年九月十七日(木)午前十時

千手院本堂改築工事

土 公 供 私 次 第

相模國千手院住職 川上修詮 編



先 着座・辨供・焼香・威儀・塗香 如常
護身法 (浄三業・三部・被甲護身)

次 加持香水 ランバン加持 五鈷杵

◎ 眞供（四智梵語）洒水發音 鉢三十

次 ラン字觀 金剛合掌

オン・ラン・ソワカ 三遍

次 淨地 金剛合掌

アラジュバ・ギャタク・サラバ・タラマク 一遍

次 地結 地結印

オン・キリキリ・バザラ・バジリ・ホラ
マング・マング・ウン・パッタ 三遍

次 四方結 方結印

オン・サラサラ・バザラ・ハラキヤラ
ウン・パッタ 三遍

次 驚發地神 五鈷杵

汝天親護者 於諸仏導師 修行殊勝願
淨地波羅蜜 如破魔軍衆 釈師子救世
我亦降伏魔 我昼曼荼羅 三遍

ノウマク・サンマング・ボダナン・ヒリ
・チビエイ・ソワカ
三遍

次 浄土変明 如来拳印

大地変じて瑠璃地と成る。其の上にビリ
字有り。ビリ字変じて賢瓶と成る。賢瓶
変じて地天と成る。五土神等の眷属困堯
せり。前後に金銀器其の数多し。

オンボツケン 七処加持明三遍

次 加持弊・符 仏眼印

本日茲に新たに造作供養し奉る御幣御
符、五眼の妙相を具足せしめんが為に。

ノウボウ・バキヤバト・ウシユニシヤ
オンロロ・ソボロ・ジンバラ・チシユ
タ・シツタロ・シヤニ・サラバ・ラタ
サダニエイ・ソワカ
三遍

次 大鈎召印

オン・ビリ・ビリ・チジ・エイ・ケイ・

キ・ソワカ

次 加持粥 彈指三遍

オン・バラバラ・サンバラバラ・ウン

次 甘露法味印言 施無畏印

オン・ソロソロ・ハラソロ・ハラソロ・ソワカ

次 毘盧遮那バン一字心 七遍

次 敬白事由 金二丁

謹み敬つて真言教主大日如来、両部界会
諸尊聖衆、教令輪身不動明王、殊には堅
牛地天、部類眷属、並びに地水火風空等
の諸神、惣じては、普天率土の大小神祇
等。外金剛部、護法天等、尽空法界一切
三宝の境界に白して言うさく。

夫れ形有る者には識さと有り、必ず佛性の理
を具す。法界に遍じて不二なり、自身他
身とも與もに一如にして平等なり。之を覚る者

は、常に五智の臺うてなに遊び、之に迷う者は、必ず三界の汚泥うんじに沈む。

是の故に佛は独り三昧耶の妙趣を鑑かんみ、六趣の塗炭を悲歡し玉う。如実の雷電らいでんを法界宮に震つて、佛法始めて閻浮提えんぶだいに流布すること釈迦出世の後二千余年也。今南瞻部洲ひのもとさがみのおくに日本相模國千手院護持法主、受け難き人身を受け、遇い難き密教に遇えり。今度出離このたびの因を植え不んば、又何れの時をか期せん。嗚呼、茲に因て、滅罪生善二世大願決定成就の為に、法樓閣を建立し渡海千手觀世音菩薩並びに弘法大師像等を安置す。地勢の相應に期する処これ在り。

仍つて相模國千手院護持寺會員一同並びに檀信徒等施主一同は、神奈川県茅ヶ崎市代官町一番四号の地を卜して、清淨無畏なら令しめんが為に、堅牛地神を供養し奉る。今正に数多あまたの施主の善願を哀愍して、此の勝地に法樓閣の建立を許し玉へ。

更には、施工の任に当たたる番匠井上棟梁をはじめ、伊藤平左工門建築事務所の設計監理・山口材木店の資材調達・小澤建設の盤石基礎工事他、各々の工事安全と無魔完成に倍々の加護を垂れ玉わらん。然れば則ち堅牛地天部類眷属諸鬼神等、佛法を仰崇し、正法を守護し、利益を有し、善神等の意に随いて此の地に住し、此の法楼閣の東西南北四維上下に於いて、所有一切の障礙を為さん毘那耶迦、諸の悪鬼神等、皆玄かに地勢を出で住す不可らず。

伏して乞う、五類諸天及び地水火風空等の五大諸神、並びに一切の善神、護法神と成つて、昼夜に擁護を加へ、所願を助成し給へ。

◎ 神供作法 不動慈救呪 敬白の後発音
職衆並びに施主代表者、浄地中央・手前
右手・手前左手・前方左手・前方右手の

順に行道。新塩・洗米・土砂・御酒の順
に地中に散ず。 各三回明一遍

◎ 参列者ご焼香

◎ 読経（理趣経） 弘法大師増法楽 一卷

次 法施心経（天阿蘇羅等偈）

天阿蘇羅藥叉等 來聴法者^{まやう}忘^{まやう}至心
擁護^{まやう}佛法使長存 各各勤行世尊教

次 誦金剛般若経文可入空觀

一切有為法 如夢幻泡影
如露亦如雷 応作如是觀

次 散念誦

大日真言 オン・アビラウンケン・バザ
ラダト・バン

地天真言 オン・ビリチビエイ・ソワカ

尊勝陀羅尼 フツテイソンシ・・・

佛慈護真言 オン・ボダ・マイチリ・バザ
ラ・アラキシヤカン・ソワカ

三昧耶戒真言 オン・サンマヤ・サトバン

◎ 後讚（不動讚） 金二丁発音 鉢三十

次 回向 懺悔随喜・・・

次 光明真言 七遍

次 弘法大師御宝号 七編

次 撥遣 金二丁

以上